

# 第5学年国語科学習指導案

児童 1組 男子12名 女子12名 計24名  
指導者 竹花 正太郎

- 1 単元名 意見を整理しながら、目的に向かって話し合おう（光村図書 5年下 大地）  
教材名 「失敗」をめぐる

## 2 単元について

### (1) 児童について

児童は、4年生までに、目的や意図に応じて、話の構成を工夫しながら場に応じた適切な言葉遣いで話すことや話し手の意図を考慮しながら聞き、自分の意見と比べて考えながらまとめることを学習してきた。4年生の単元「よりよい意見にまとめよう」教材「話し合って決めよう」では、どのようにしたらよりよい話し合いになるかを考え、「話題からそれない」「立場をはっきりさせる」「例をあげる」など、意思決定をする話し合いを実りあるものにするための態度と方法を学習してきた。また、5年生で単元「話の組み立てや言葉づかいを考えてたずねよう」教材「インタビュー名人になろう」では、目的や内容を明確にしながら相手に応じた言葉遣いでインタビューし、相手の答えを予想しながら話の内容を聞いて相手に尋ねる技能を高める学習を行ってきた。さらに、単元「伝え合って考えよう」教材「人と『もの』とのつきあい方」では、分かりやすく相手に伝わるように、組み立てを工夫して話したり、自分の考えと照らし合わせ、話題のとらえ方の違いや共通点を明確にしながら聞いたりするなどの学習を行ってきた。

また、これまで、いろいろな話し合い活動の際はグループ学習を中心に行い、自分の考えをみんなにうまく伝えたり、よりよい考えが出るように意見をまとめたりしながら進めていくようにしてきた。しかし、そこでは、「話すこと・聞くこと」にかかわる態度や技能を高めるために、教師側から提示した内容が多く、今回のような自分自身の「失敗」というような実際の体験について話し合うという活動は少ないと言える。

この単元の目標に関わる「見通しをもって話し合う」ことについて事前の意識調査を実施したところ、結果は次の通りであった。

質 問 項 目	はい	どちらかと	どちらかと	いいえ
		いうと はい	いうと いいえ	
①友達と話し合いをすることが好きですか。	17%	33%	29%	21%
②話し合いの目的を考えながら、話し合いに参加していますか。	29%	33%	33%	4%
③聞き手によく伝わるように話していますか。	8%	50%	38%	4%
④理由と意見を意識して、分かりやすく話していますか。	17%	29%	46%	8%
⑤自分の体験と比べながら、友達の話聞くことができているか。	4%	67%	13%	17%

調査の結果から、7割ほどの児童が「自分の体験と比べながら、友達の話聞くことができている」と答えているが、「聞き手によく伝わるように話している」ことや「理由と意見を意識して、分かりやすく話している」ことは、あまり意識していないことが分かる。また、「友達と話し合いをすることが好き」と答えている児童は5割程度ということで、話し合い活動について抵抗感をもっている児童が多いことも伺える。しかし、日常のスピーチ活動に取り組む際に、しっかり発表するように促したり、励ましたりすると、率直に自分の考えを話すことができる児童も多くいる。

このことから、本単元の導入では、話し合うときの雰囲気大切にしたり、話し合い活動の意義や手順を確認したりするなどしていく必要があると考える。また、グループでの話し合い活動を多く取り入れたり、進め方を工夫したりすることにより、児童が意欲的に取り組めるようにしていく。このような活動を意図的に取り入れることにより、「見通しをもって話し合う」ために必要な項目を高めていきたいと考える。

## (2) 教材について

本教材は、これまでの話し合いの経験を振り返り、見直しをもって話し合いに参加しようとする態度を育てることができる教材であると考え。また、うまくいった話し合い、あるいは、うまくいかなかった話し合いのそれぞれの原因を整理することで、よりよい話し合いを目指すきっかけ作りとなる教材である。これらのことは、国語の学習以外の様々な話し合いの活動でも活かすことができるであろう。

5・6年生の「話すこと・聞くこと」の目標は、「目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる」である。

本単元のねらいは、自分の生活をよりよくする目的に向かって、グループで順序や段取りを考え、思いやりをもって話し合うことである。

また、主たる指導事項は、「互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと」(A(1)オ)である。話し合いをスムーズに進めるためには、自分の考えを相手に正しく伝えたり、相手の考えを正しく理解したりすることが大切である。

そのためには、自分の考えをしっかりとちながら、自分の思いを的確に表す言葉を選ぶ力や文脈の中で言葉の意味を的確につかむ力が必要になってくる。また、話し合いをすることで、一人では思いつかなかったよい案が生まれたり、誰でもが納得できる案に落ち着いたりするなど話し合いに参加した人たちが、新しいものの見方や考え方を手に入れ、理解を深めることができる単元であると考え。

## (3) 指導に当たって

つかむ段階では、話すことに抵抗感がある児童が多いと思われるので、まずは、抵抗感を取り除くことから始めたい。そのために、それぞれの思いを大切にし、話し合う雰囲気大切にしながら、「話し合っただけよかった」という体験を積み重ねるように進めていきたい。そこで、これまでの自分自身の実体験をもとに話し合おうとする意欲の素地を育てながら、付録のCDを活用し、順序よく目的をもった話し合いをすることのよさや意義についても考えていくようにもしていきたい。

ふかめる段階では、グループごとに、実際に順序や目的を意識した話し合いができるように進めていく。その際、自分たちの日常生活の中の身近な話題や自分たちの生活に直接結びついた話題を話し合うことで、児童同士の関わりが生まれ、興味をもって話し合うことができると思われる。また、どのような話し合いをすると話し合いがうまくいくのかという話し合いの手順についても考えさせていきたい。

まとめる段階では、児童一人ひとりが感じた感想や話し合いの振り返りをもとに児童同士が意見を交流しながら、進めていきたい。また、話し合いに参加した児童全員が、話し合いの目的に向かって、頭を働かせたり、気持ちを合わせたりすることが、話し合いには大切であるということにも気づかせていきたい。

さらにこの単元では、グループでの話し合いを中心に、話し合いのなかみを分類・整理しながら、正確に話を伝えたり、正確に話を聞き取ったりする必要性を実感させることもできると思われるので、話し合いの過程を大切に扱いつつ、よりよい考えを生み出すことができるように、お互いの考えを深め、交流していきたい。また、この単元の学習で身に付けた力を名人カードで確認しながら、意欲付けを図っていきたい。

## (4) 家庭学習と授業のつながりについて

つかむ	・音読練習。・新出漢字練習。
ふかめる	・話し合う話題の収集。・話し合いの見直しや自分の考えを整理。
まとめる	・今までの学習を振り返り、感想を整理。

### 3 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

◎話し合いの大切さを知り、進んで話し合いに参加しようとしている。

(2) 話すこと・聞くこと

◎話し合いの目的や順序を確かめながら、話題に沿って話し合することができる。

○相手や目的、場に応じた音量や速さに気を付けて話すことができる。

(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

○日常よく使われる敬語の使い方に慣れることができる。

### 4 単元の評価規準

ア 国語への 関心・意欲・態度	イ 話す・聞く能力	ウ 言語についての 知識・理解・技能
・話し合いの大切さを知り、進んで話し合いに参加しようとしている。	・話し合いの目的や順序を確かめながら、話題に沿って話し合っている。 ・相手や目的、場に応じた音量や速さに気を付けて話している。	・日常よく使われる敬語の使い方に慣れている。

5 学習指導計画（全5時間）

は、かかわり合いの場

過程	時間	学習活動	教師のはたらきかけ	評価規準（方法）
つかむ	1	<p>教材文や付録のCDから、話し合いの目的・手順を確かめる。</p> <p>学習形態は、学級全体。話し合いの目的・手順を確かめ合う。</p>	<p>・これまでの失敗を想起させるとともに、目的をもった話し合いを成功させるには、どうすればよいかの手順を確認する。</p> <p>CDを聞いて、気づいたことが視覚的にとらえられるようにポイントを示す。</p>	<p>ア 話し合いの大切さを知り、進んで話し合いに参加しようとしている。（観察）</p> <p>イ 教材文や付録のCDから、話し合いの目的・手順を理解している。（学習シート・発言）</p>
	2 (1組本時)	<p>話し合いの目的や手順を確認し、話し合うポイントに気をつけながら、グループでの話し合いを行う。</p> <p>学習形態はグループ。はじめに失敗した例を話し合う。次に、失敗の原因を考えながら分類し、分類した内容について解決方法を話し合う。</p>	<p>・意見と理由を分かりやすく伝わるように話したり、似たような経験がないかを考えながら聞いたりさせる。</p> <p>・話し合った後、失敗の分類をし、分類した失敗の型ごとに失敗を繰り返さない方法や解決方法を話し合わせる。</p> <p>話し合いの順序に沿って、話し合いができていないグループを紹介する。</p>	<p>イ 話し合いの目的・順序を理解しながら話題に沿って話し合っている。（観察・自己評価）</p>
ふかめる	3	<p>グループごとに、話し合いの手順を振り返り、次時の話し合いの話題を決め、計画を立てる。</p> <p>学習形態はグループ。前時の話し合いでうまくいった点やうまくいかなかった点について、原因を話し合う。</p>	<p>・前時の話し合いの結果と話し合いの順序について振り返り、更に、どうすればよい話し合いになるかを交流する。</p> <p>話し合いを振り返ることで、スムーズに次の話し合いを進めていけるようにする。</p>	<p>イ 話し合いの目的・順序を確認しながら話題について振り返り、話し合っている。（観察・自己評価）</p>
	4 (2組本時)	<p>グループの中で、話し合いの目的や順序を見通し、話題に沿って適切に話し合う。その後、話し合いを振り返る。</p> <p>学習形態はグループ。目的や順序を理解し、話し合いの見通しをもって話し合う。</p>	<p>・話し合いの目的と手順を確認し、出された話題について、どのような分類の仕方があるのか考えさせる。</p> <p>話し合いの結論と振り返りについてグループごとに一覧表にまとめ、次時に発表できるようにさせる。</p>	<p>イ 話し合いの目的・順序を見通し、友達の体験談と自分の体験談を比べながら、話題に沿って話し合っている。（観察・自己評価）</p>

まとめる

5	<p>グループごとの話し合いの振り返りを交流し、話し合いの大切さを知る。</p>	<p>・よかったところを中心に感想を交流することで、本単元で学んだことが今後様々な場面での話し合いに活かせるようにさせる。</p>	<p>イ 相手や目的、場に応じた音量や速さに気を付けて話している。（観察・相互評価）</p> <p>ウ 日常よく使われる敬語の使い方に慣れている。（観察）</p>
---	--	---	---

# 第5学年国語科学習指導案

児童 2組 男子13名 女子12名 計25名  
指導者 菊地 一 隆

- 1 単元名 意見を整理しながら、目標に向かって話し合おう (光村図書 5年下 大地)  
教材名 「失敗」をめぐる

## 2 単元について

### (1) 児童について

児童は、4年生までに、目的や意図に応じて、話の構成を工夫しながら場に応じた適切な言葉遣いで話すことや話し手の意図を考慮しながら聞き、自分の意見と比べて考えながらまとめることを学習してきた。4年生の単元「よりよい意見にまとめよう」教材「話し合って決めよう」では、どのようにしたらよりよい話し合いになるかを考えながら、意思決定をする話し合いを実りあるものにするための態度と方法、例えば、「話題からそれない」「立場をはっきりさせる」「例を挙げる」などを学習してきた。また、5年生になって単元「話の組み立てや言葉づかいを考えてたずねよう」教材「インタビュー名人になろう」では、目的や内容を明確にしながら相手に応じた言葉遣いでインタビューし、相手の答えを予想しながら話の内容を聞くという学習、さらに単元「伝え合って考えよう」教材「人と『もの』との付き合い方」では、分かりやすく伝わるように、組み立てを工夫して話したり、自分の考えと照らし合わせ、話題のとらえ方の相違点や共通点を明確にしながら聞いたりする学習を行ってきた。

現在、日常活動を中心に、いろいろな場において場に合わせた言葉遣いや発表の仕方を考えさせながら、一人一人がよりよい話し方を考えて行うようにしている。さらに話し合いの活動の際、自分の考えをみんなにうまく伝えたり、よりよい考えが出るようにグループごとに話し合う場を設定したりしながら、みんなの意見をまとめ、話し合いを進めていくようにしている。

この単元の目標に関わる「見通しをもちながら話し合う」ことについて、事前の意識調査をしたところ、結果は次の通りであった。

質問項目	はい	どちらかと言えば はい	どちらかと言えば いいえ	いいえ
① 友達と話し合いをすることが好きですか。	36%	32%	32%	0%
② 話し合いの目的を考えながら、話し合いに参加していますか。	36%	52%	12%	0%
③ 聞き手によく伝わるように話していますか。	20%	72%	8%	0%
④ 理由と意見を意識して、わかりやすく話していますか。	16%	60%	24%	0%
⑤ 自分の体験と比べながら、友達の話を聞いていますか。	12%	64%	20%	4%

調査の結果から、「聞き手によく伝わるように話す」ことを意識している児童が多いものの、「理由と意見を意識して、分かりやすく話す」ことや「自分の体験と比べながら、友達の話を聞く」ことをあまり意識していない児童が多いように思われる。また、「友達と話し合いをすることが好き」の結果や様々な活動の中での話し合い、これまでの活動の様子を振り返ってみると、話し合い活動において、自分から積極的に意見を出すことに抵抗感を示す児童が多いようにも思われるが、発表するように促すと、率直に自分の考えをしっかりと話すことができる児童も多くいる。

したがって、今回の学習では、話し合う時の雰囲気大切に、見通しをもちながら話題に沿って話し合いができるように、話し合いの目的や手順を確認したり、グループでの話し合いの活動を多く取り入れたりしながら進めていきたい。更に、児童一人一人が意欲をもって話し合いに臨んだり、今後の様々な活動の中での話し合いに活かしたりできるようにしていきたい。

・学習形態は学級全体。グループごとに行った2回の話し合いを振り返る。

6 本時の指導 (4/5)

(1) ねらい

・グループの中での話し合いの目的や順序を理解し、話題に沿って適切に話し合いをすることができる。

(2) 本時の展開

□□□□ は、かかわり合いの場

過程	学習活動	教師の働きかけ
つかむ 5分	1 前時の学習内容を想起する。  2 本時の学習課題を確認する。  <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             今までの生活をふり返り、さらによりよい羽場小学校となるように、話し合ってみよう。           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時での話し合いの感想を紹介したり、話し合いの様子などを振り返ったりする。そして、今日の話し合いのテーマについて知らせる。</li> </ul>
か か わ り 合 う  3 2 分	3 学習課題を解決する。 (1) 話し合いの進め方でうまくいったところ、うまくいかなかったところを確認する。 (2) 話し方と聞き方のめあてを確認する。 (3) 話し合いの手順を提示する。  <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>【話し合いの手順】</p> <p>①今までの生活をふり返り、一人一人が現在の羽場小学校の様子を出し合う。</p> <p>②出された羽場小学校の様子を共通点・類似点に着目して分類・整理する。</p> <p>③羽場小学校をさらによりよくするための方法について、分類ごとに話し合う。</p> <p>④話し合った内容について、発表できるようにまとめる。</p> </div> <p>※本時では、特に④を中心に話し合いを進めるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>学習形態は、グループ。一人一人から出された学校の様子を分類しながら、更によりよい学校にするための方法を話し合いで探っていく。</p> <p>&lt;予想される話題の観点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい学校にするために</li> <li>・明るい学校にするために</li> <li>・仲のいい学校にするために</li> <li>・元気のいい学校にするために</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いがうまくいったのはどうしてか、またうまくいかなかったのはどうしてかを確認する。</li> <li>・「目的からそれない」「順序に沿って」「事実と理由を区別して話す」「相手の考えを認めながら聞く」など確認する。</li> <li>・様々な学校の様子を共通点・類似点に着目して類型化するようにし、考えの変化があってもよいことを確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p>評価規準</p> <p>A：出された話題について、共通点・類似点に着目ながら類型化したり、順序に沿って適切に話し合ったりしている。</p> <p>B：類型化された話題に沿って、適切に話し合いをしている。(C児への手だて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の伝えたい事柄を確認させ、話し合いに参加できるようにする。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのグループごとの話し合いの様子から、うまく話し合いが進んでいるか観察しながら、適宜アドバイスしていく。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>よりよい話し合いにするために、学校の様子を分類を付箋紙やプリントを活用し整理しながら、進めるようにしていく。</p> </div>
み と め 合 う  8 分	5 本時の学習をまとめる。 (1) 学習を振り返って、名人カードで自己評価したり、学習プリントで感想をまとめたりする。 (2) 感想を発表する。  6 次時の学習内容を知る。 ・今までのグループでの話し合いを振り返り、全体で交流することを知らせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでの話し合いから名人カードや学習プリントで振り返りを行い、本時の学習で深まった内容、自分の変容、友達の良さなどについて感想をまとめさせる。</li> </ul>

6 本時の指導 (2 / 5)

(1) ねらい

- ・グループでの話し合いの目的や順序を理解し、話題に沿って適切に話し合いをすることができる。

(2) 本時の展開

□は、かかわり合いの場合

過程	学 習 活 動	教 師 の 働 き か け
つかむ5分	1 前時の学習内容を想起する。 2 本時の学習課題を確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">自分たちのよりよい生活を目指して、話し合いをしよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの教材文『「失敗」をめぐって』の話し合いで気をつける点等について確認する。</li> <li>・本時は自分たちの失敗について考え、生活を向上させるための話し合いをすることを告げ、学習意欲を高める。</li> </ul>
かかわり合う  33分	3 学習課題を解決する。 ○ 話し合いの進め方を確認する。 (1) 話し方と聞き方のめあてを確認する。 (2) 話し合いの手順とポイントについてモデルを提示する。 <b>【話し合いの手順】</b> ① 自分の失敗の体験について、一人一人が経験・意見を出し、交流し合う。 ② 出された話題を共通点や類似点に着目して分類する。 ③ 自分たちの生活をよりよくするための方法について、分類された型毎に話し合う。 ④ 話し合った内容について、どのように改善したらよいか発表できるようにまとめる。 ※ 本時は特に②について重点的に取り組むことを確認する。 4 話し合う ○ グループ毎に話し合いの手順に従ってまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一人一人から出された失敗についてグループで協力しながら話題を分類し、これからの生活の中で失敗しないためのよりよい改善策を話し合いで探っていく。</div> <予想される話題> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物頼まれたが、買い忘れてしまった。</li> <li>・友達との待ち合わせ場所を間違えた。</li> <li>・洗濯物のポケットにティッシュを入れたまま洗った。</li> <li>・洗濯物をしまい忘れ、雨が降り、親にしかられた。</li> <li>・学習道具など必要な物を忘れてしまった。など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで相手に伝わるような声の大きさと、分かりやすい内容になるよう工夫する。</li> <li>・他の人の失敗を自分のこととしてとらえ、自分だったらどうするかを考えながら、共感的に聞くようにさせる。</li> <li>・様々な経験、意見を共通点や類似点に着目して類型化することを押さえる。また、類型化には出された話題によって様々な答えがあることや、話し合いを進めるうちに類型の仕方に変化があってもよいことを確認する。</li> <li>・特に「目的からそれない」「順序に沿って」「意見と理由を区別して話す」「相手の考えを認めながら聞く」などのことを確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     &lt;評価規準&gt;                      A：出された話題について、これまでの学習経験を生かして類型化したり、話題に沿って適切に話し合ったりしている。                      B：類型化された話題に沿って、適切に話し合いをしている。                      (C児への手だて)                      ・自分の伝えたいことを意識させ、話し合いに参加できるようにする。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導により、それぞれのグループの様子を観察し、ねらいに沿って話し合いが進んでいるかどうか適宜アドバイスをしていく。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     ①失敗についての話題の分類を付箋紙を活用したり、プリントに整理したりしながら、グループで協力して進められるようにする。                      ②話し合いがねらいに沿ったよりよいものになるように抽出班を設定し、その班の話し合いの様子を途中で再現させ、全体で意見を交流する。                 </div>
まとめ合う  7分	5 本時の学習をまとめる。 (1) 話し合いをふり返り、自己評価をする。 (2) 感想を発表する。 6 次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自のめあてが達成できたか振り返らせる。</li> <li>・上手に話し合いができたグループを取り上げ、全体で賞賛する。</li> <li>・これまでの学習と比べ、向上した点について気づかせる。</li> <li>・話すこと聞くこと名人カードの観点に触れ、「話し合うこと1・2・3」について、特に取り組んでいくことを知らせる。</li> <li>・次時は、他の話題について話し合うことを知らせる。</li> </ul>